

一般会計予算決算常任委員会
新型コロナウイルス感染症対策
分科会記録

令和2年6月16日

【開催日】 令和2年6月16日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後4時20分～午後4時58分

【出席委員】

分科会長	高松秀樹	副分科会長	山田伸幸
委員	伊場勇	委員	水津治
委員	長谷川知司	委員	藤岡修美
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総務部長	川地論
総務部次長兼人事課長	辻村征宏	総務課長	田尾忠久
企画部長	清水保	財政課長	山本玄
財政課課長補佐	村長康宣	財政課財政係長	野原崇史
財政課調整係長	鈴木一史	経済部長	河口修司
商工労働課長	村田浩	商工労働課主査兼商工労働係長	宮本涉

【事務局出席者】

事務局長	尾山邦彦	事務局次長	石田隆
------	------	-------	-----

【付議事項】

- 1 議案第74号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について

午後4時20分 開会

高松秀樹分科会長 皆さんお疲れ様です。それでは一般会計予算決算常任委員会新型コロナウイルス感染症対策分科会を始めます。本日は、議案第74号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）についてでございます。それでは最初に執行部の説明をお願いいたします。

山本財政課長 それでは、議案第74号令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）の歳入のうち一般財源につきまして御説明いたします。補正予算書の5ページ、6ページをお開きください。19款1項1目1節の財政調整基金繰入金につきましては、この度の補正の財源調整として繰り入れるものであり3億7,987万円を増額いたしております。なお、この度の補正によりまして財政調整基金の令和2年度末の予算上の残高は16億1,955万円となります。一般財源に係る説明は以上です。御審査のほどよろしくをお願いいたします。

高松秀樹分科会長 続いて歳出に係る説明をお願いします。

村田商工労働課長 歳出の商工労働課分について御説明いたします。予算書は7ページから10ページまでとなります。7款商工費、1項商工費、6目新型コロナウイルス対策費についてです。お手元にお配りしておりますA4の資料、山陽小野田市商品券発行事業についてを御覧ください。まずは、この資料に沿って概要を御説明いたします。まずは、事業を実施する目的ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、市民生活を支援するとともに、地域における消費を喚起するため全市民に商品券を配布します。2、事業概要ですが、まず、市民の皆さんに商品券を配布いたします。市民の皆さんはあらかじめ取扱店に登録しているお店で買い物をさせていただきます。取扱店は使用された商品券を持参し、市内の金融機関で換金していただくという流れになります。これまで実施してきましたプレミアム付商品券と同じ方法で実施したいと思っております。3番の事業主体ですが、実施主体は市です。ただし、取扱店の募集、商品券の換金などの事業者への対応は、市、小野田商工会議所、山陽商

工会議所が、協議会を設置して実施いたします。4番の商品券ですが、商品券の愛称をスマイルチケットとします。発行額面は500円です。市民の皆さんには、1人500円掛ける10枚の5,000円をお送りいたします。対象者は、住民基本台帳に登録されている市民で、山口東京理科大学の全学生も対象にします。基準日は未定です。使用期間は令和2年10月から令和3年2月末としています。5番、取扱店ですが、商品券発行事業を実施するに当たり、当事業に参加していただけるお店を募集します。対象店舗としましては、5,000円のうち2,500円分を専用券として市内飲食店、小規模事業者、タクシー事業者で使用できます。②の共通券も2,500円分としており、昨年度のプレミアム付商品券と同じで、市の全ての事業所が対象となります。専用券の対象の店につきましては、共通券も対象となり、5,000円分の商品券の使用が可能です。6番、市民への配布方法ですが、住民基本台帳に基づきまして、世帯ごとに郵送いたします。続きまして、予算について御説明いたします。予算書の7ページ、8ページを御覧ください。7款商工費、1項商工費、6目新型コロナウイルス対策費、2節給料につきましては、会計年度職員の給料として350万7,000円。3節職員手当等は、職員の時間外手当、会計年度職員の通勤手当として268万4,000円。4節共済費は会計年度職員の社会保険料として72万円。11節需用費は消耗品、印刷製本費、修繕費を電話開設工事として1,359万4,000円。12節役務費は、通信運搬費、郵便切手代などで、新聞などへの広告料、金融機関への換金手数料として2,490万2,000円。委託料は、住民基本台帳のデータ管理に伴うシステム改修委託料、市民の皆さんへの商品券の利用をサポートするための委託料と、帳票印刷・封入の委託料として1,340万円。9ページ、10ページを御覧ください。続きまして、使用料及び賃借料として、パソコン、計数機のリース代として524万7,000円。負担金、補助及び交付金は、商品券の換金原資として3億1,500万円を計上させていただいております。説明は以上です。御審査のほどよろしくお願いいたします。

高松秀樹分科会長 以上で説明は終わりました。まず歳入部分について質疑を求めたいと思います。歳入は、財調ね、全部。財調の残金を聞いたけど、えらい減ってますね。これ三十何億円なかったですか。（「40億円あった」と呼ぶ者あり）40億円あったんやね。何かそこは説明がありますか。

山本財政課長 財政調整基金、令和元年度末、一応予算上の数値でいきますと、約41億円でございます。それが当初予算におきまして約11億8,000万円繰り入れるということにいたしておりましたが、その後、コロナの関係もありましたので、補正を重ねまして、今回の第8回までで、約25億円を取り崩すという形になりました。その結果、この度、財政調整基金の予算上の残高は、約16億2,000万円ということになりました。

高松秀樹分科会長 ほかはよろしいですか。財政調整基金。

山田伸幸副分科会長 さっき吉永議員の一般質問でもありましたけれど、国の交付金ですよ。これは、最初の分が2億2,000万円ぐらいだったんですが、その後どうなんでしょうか。増額が来るんでしょうか。

山本財政課長 ちょっと財政課の所管ではございませんので、正確なお答えができるか分かりませんが、一次補正において、市の単独事業に充てる補助金としておおよそ2億2,000万円が限度額として内示されたという段階であります。それ以降の2次補正、あるいは1次補正におきましても補助の部分っていうのは、まだはっきりした数字を国から頂いておりません。ですが何らかの財政支援は受けられるというふうには思っています。以上でございます。

山田伸幸副分科会長 この度の二次補正では倍額になっているということなんですけど、ただ、それは使い道がかなり指定されてましたですよ。今

回のように本市独自事業に対しては、充てられるものは余り期待されな
いというふうに見ておられますか。

清水企画部長 言われるとおり、第1次補正と第2次補正の内容が今の情報の中
では異なっているというところであります。第一次については今のコ
ロナの感染予防対策であるとか、そういったところに力を入れておられ
たということですが、第二次補正については家賃補助であるとか、ある
いは今後の新たな新しい生活様式に向けてということで配分されるとい
うことを聞いております。ただそれだけなのか、その他、今の第一次補
正の残った分に充てられるのかということもまだはっきり分かっており
ませんので、その辺り、分かり次第またしっかり精査しながら、財源に
充てていきたいというふうには考えております。

高松秀樹分科会長 そうしたら、歳出7ページから10ページの山陽小野田市
商品券発行事業3億7,900万円、これについて質疑をお願いいたし
ます。

吉永美子委員 まずお聞きします。会計年度職員の一般職給ということなん
ですが、これは何人分でしょうか。

村田商工労働課長 事業として二つありまして、一つが市民への対応、商品券
を送付するところで2名、それと取扱店の募集とかお店に対する対応に
つきまして1名を予定しております。

吉永美子委員 これは会計年度なので来年の3月末までなんでしょうけど、い
つからいつまでっていう認識なんですか。

村田商工労働課長 予算上は、7月から3月までを予定しております。

吉永美子委員 予算上ということは、募集はいつから始めておられますか。

村田商工労働課長 今、スケジュールを精査している段階で、職員が必要になった段階で募集等をかけようと考えておりますので、ちょっとその辺は今から精査していきたいと思っております。

高松秀樹分科会長 でも、7月ってもうすぐよ。

村田商工労働課長 7月から募集というところで大丈夫かなというふうには思っております。

高松秀樹分科会長 募集は7月ね。

長谷川知司委員 本会議でも質問がありましたけど、換金が3回ということやっただすね、金融機関での。これが例えば3日、13日、23日とかってなったときに、土日を挟んだら10日が12日になるわけですね。そういうこともあって、これが4回にならないかという希望があるんですが、そういうことは検討されませんか。

村田商工労働課長 この換金につきましては、今、月3回にしております。前回の去年のプレミアム付商品券のときに、特に増やしてほしいという要望はありませんでした。3回で適正かなと思っております。そんな中で銀行からも、実は換金にまとめて来られる事業者が多くて、逆に、3回全部、月1回でもいいから来てほしいという要望がありました。

高松秀樹分科会長 今の換金、これ見ると、実施主体のところ、取扱店の募集、換金などは市、小野田商工会議所、山陽商工会議所がスマイルチケット事業推進協議会を設置して実施するってあるじゃないですか。換金もこの協議会が設置して実施するんですか。それとその換金のシステムをもうちょっと教えてください。

村田商工労働課長 換金につきましては、負担金としてまず市が協議会に、原資を負担金として出します。そして、協議会から銀行に、原資となるお金を預け入れます。まず最初にです。取扱店が商品券を持って換金にいられたときに、その預託したお金から取扱店に支払うというシステムにしております。

高松秀樹分科会長 はい、分かりました。

吉永美子委員 この度のこのスマイルチケットのデザインってとっても大事だと思うんですが、まず、このデザインをどのようにされるのかお聞きします。

村田商工労働課長 今のところ未定なんですけど、去年のプレミアム付商品券のチケットはスマイルのマークを使わせていただいております。ただ、それと全く同じにすると、去年の商品券の分と分からなくなってしまいますので、ちょっと色合いを変えたりとか、今回専用券と共通券がありますので、その部分についても色を変えたりとか、分かりやすくしないといけませんので、ベースはスマイルマークにしたいと思っておるんですが、色をちょっと変えていきたいなと思っております。

吉永美子委員 特にどこかに委託してじゃなくて、庁内でデザインも考えるということですね。

村田商工労働課長 デザイン込みで委託したいと思っております。

吉永美子委員 それはどこに金額が入っているんでしょうか。

村田商工労働課長 商品券は印刷製本費に入っております。

吉永美子委員 じゃあもうそこにデザインしてもらい、印刷してもらい、袋に

入れてもらいを全てを一つの会社に任せるといことですか。

村田商工労働課長 デザインと商品券の印刷につきましては、一つの業者をお願いしようと思っているんですが、封入につきましては、どこの業者に委託するか、今検討中でございます。商品券の印刷をお願いしようと思っている業者を選定しておるんですが、その中で、例えば、関連会社とか、そういったところを紹介していただくように考えております。

吉永美子委員 この封入っていうのは大変難しいですか。と言うのが、今の障害者のところの作業所とかを、優先していろいろやってもらうことがあるじゃないですか。それは無理ですか。

村田商工労働課長 まず、うちのほうが住民基本台帳のデータをお渡しすることになりますので、セキュリティーを万全にしなければなりませんので、定額給付金と同じような仕様で検討しております。ISOの27001、情報セキュリティーマネジメントシステムの国際規格を取得している業者を考えております。

吉永美子委員 極力、市内業者を使ってほしいんですけど、その点は今回も市内ではないということですか。

村田商工労働課長 チラシとかそういったものは市内の印刷業者をお願いしたいと思っております。

高松秀樹分科会長 ということは、もうこの印刷製本する業者は決定されているってことですか。

村田商工労働課長 まだ複数候補がありますので、今、選定っていうか検討している段階でございます。

吉永美子委員 それでせっかくなので聞きたいのですが、この電話開設、修繕料っていうのはどのようにするってということですか。

村田商工労働課長 市民への対応につきましては、市民の方からお電話があったときとかは、市民館で定額給付金を今されておられる会場をちょっと間借りして実施しようと思っておりますので、そこに専用の電話回線を引くといった作業になります。

吉永美子委員 電話の問合せだけに対応するというそのためのものなんですよね。分かりました。それであとお聞きしたいのが、山口東京理科大学生向けに住まいる奨励金がありますよね。今回の商品券の取扱店の募集についてなんですが、この住まいる奨励金の該当してるお店とかも絶対入れていくとかいろんなその点の考え方はいかがですか。

村田商工労働課長 住まいる奨励金の取扱店につきましては、前年去年のプレミアム付商品券でもお声掛けさせていただいております、今回もお声掛けをさせていただこうと思っております。

吉永美子委員 声を掛けていただいて、当然やっぱり理科大生の全学年も対象とするということは理科大生も使っていただくということでは、住まいる奨励金の取扱店は全てやっぱり入るのがふさわしいと思うんですけど、その点は100パーセント行けそうですね。

村田商工労働課長 お声掛けはさせていただくんですが、最終的な判断はやっぱりそのお店になろうかと思えます。

吉永美子委員 せっかく住まいる奨励金の取扱店になってるけど、今回のお声を掛けたけど入れなかったりとか現実あったんですか。やっぱ何かの事情があるんですかね。せっかく進めてるんだけど、その辺はいかがなんですか。考え方が違うんですか。

村田商工労働課長 前回のプレミアム付商品券のときは皆さんに参加していただけたと思います。

藤岡修美委員 委託料でシステム改修委託料、先ほど住民基本台帳を改修ってということで、その内容と期間的なものが分かれば。

村田商工労働課長 これも二つの工程があって、一つは既存の住民基本台帳のシステムから印刷のために必要となるデータの抽出、それと送付管理のためのシステムの導入です。期間につきましては申し訳ありません、まだそこまで業者と詰めておりません。

長谷川知司委員 先ほどの確認なんですけど、2番では市内金融機関で換金って書いてあるんですね。3番では実施主体ということで、換金などは事業推進協議会を設置してっていうのは、そこでも換金できるわけですか。これをちょっと確認させてください。

村田商工労働課長 換金につきましては金融機関のみです。金融機関にお金を預けたりとか、そういった事務を協議会の方をお願いするといったことになります。

吉永美子委員 この通信運搬費なんですけど、結局、金券ですので確実に世帯主に行くんですね。世帯主に対してその家族分が全部行くんだけど、確実に届くということでは簡易書留とか、どういう考え方を持っておられるんでしょうか。

村田商工労働課長 まだ正式には決めてないんですが、郵便局と相談しながら簡易書留か特定配達記録などそういったものを利用したいと考えております。

伊場勇委員 登録店舗数は幾らぐらいを見込んで動かれる予定でしょうか。

村田商工労働課長 前回、前々回のプレミアム付商品券は300店でした。山口東京理科大学の住まいる奨励金は262店舗となっております、300店を超えたらいいかなと考えております。

伊場勇委員 いろいろ幅広く使えるということなので、そのやり方っていうのは今後その実施主体の協議会で考えられると思うんですけど。この実施主体はいつぐらいから集められて活動してっていうところのスケジュールを教えてくださいんですけど。

村田商工労働課長 協議会の立ち上げは、もう7月になったらすぐに、7月1日でもう立ち上げて、すぐに取扱店のほうの募集に入りたいと思っております。

伊場勇委員 では7月1日に立ち上げて、それから10月からの開始ということは今予定しておられるということは、9月の末ぐらいには、家庭に届くようにお配りするというようなスケジュールでよろしいですか。

村田商工労働課長 おおむね9月の中旬ぐらいから郵送を始めて、郵送が10日から2週間掛かると言われますので、10月までにはお届けできるようにしたいと考えております。

吉永美子委員 県内の現在の状況でいいんですが、県内でうちのような形を何かやられるような市町があるとかいう情報は入ってますか。

村田商工労働課長 県内でもほとんどの市が検討しているということはお聞きしております。ただ、早くからやっておられるのは長門市が商品券5,000円を全市民にお配りする事業を実施しておられます。その次は、まだ検討中の市が多いということで、まだ具体的には出てきてないです。

吉永美子委員 せっかくやられるんで、よそはやっても、山陽小野田いいよね
って広告の仕方ってとてもあると思うんですが、この広告料55万
円ってというのはどういう形で広告していけますか。

村田商工労働課長 広告料につきましては、取扱店の募集と、それとあと商品
券をお配りしますというところの市民の皆さんへの広告で使いたいと考
えております。

高松秀樹分科会長 どういうツールを使うかっていうことを。

村田商工労働課長 すいません。ツールは新聞広告とか、そういったものを考
えております。

高松秀樹分科会長 とかっていうのは、決定されてないと思っていいんですか。

村田商工労働課長 そうです。正式にここというふうには決めておりません。
今から精査していきたいと思っております。

松尾数則委員 金融機関とはもう基本的には決められているんでしょうか。金
融機関ともいろいろと契約なんかあるんじゃないかという気がするけど。

村田商工労働課長 金融機関につきましては、市の制度融資等でいろいろうち
の方ともお付き合いがありますので、商品券をやりますので御協力をお
願いしますということをお伝えしております。

松尾数則委員 何年か前のプレミアム、例えばJAなんかも入ってなかった
んですよね。今回はどういう感じなんですか。

高松秀樹分科会長 取扱金融機関名を言うてください。

村田商工労働課長 取扱金融機関は、山口銀行、西京銀行、山口県信用組合、西中国信用金庫です。

高松秀樹分科会長 入ってないです。

吉永美子委員 今の広告なんですけど、極力お金を掛けないんだけど、市民の目に触れるようにという意味では、手作りでもいいからポスターみたいなものは作れないもんなんじゃないかな。

村田商工労働課長 チラシは考えておったんですけど、一応ポスターも検討したいと思います。

伊場勇委員 さっき言った登録店なんですけど、300店っていうふうにおっしゃいましたが、飲食業だけで300ぐらい今市内であって、プラス理美容とか、観光関係の事業者もあると思いますし、プラス、今抱えているタクシー事業者とか、結構、数あると思うんですよ。なので、そういう組合も一緒に取り入れて、協力を促したり、それは協議会で話されると思いますけど、もうちょっと目標高く、そうやっていただきたいんで、そこは協議をしっかりと詰めていただきたいと思います。お願いします。これは意見です。

高松秀樹分科会長 これ取扱店をどのように募集をしていくのか、今さっき会計年度職員1人が当たるっていう話もあったんですけど。落ちのないようにしてほしいっていうところだと思うんですけど。それはどういうふうに今後やられてですか。つまり、私知りませんでしたよとか余りないよということだと思うんですけど。

村田商工労働課長 取扱店の募集につきましては、両商工会議所会員へチラシを配布、それと市のホームページ、新聞掲載、広報掲載、各公共施設に

チラシを置くなどしたいと思っておるんですが、先ほど伊場委員が申されたように、料飲店組合だとか、そういったところにも声を掛けさせていただいて幅広く募集していきたいと考えております。

山田伸幸副分科会長 この商品券の期限は何月何日まで固定で行くんですか。それとも配布が終わってから半年間とか、そういう形になるんでしょうか。

高松秀樹分科会長 ここにある使用期間のとおりでいいですか。はい、一応答えてください。

村田商工労働課長 10月から来年、令和3年の2月末まで使用できるようにしております。

水津治委員 ちょっと聞き漏らしたかも分かりませんが、13の委託料の中の2番目の商品券利用支援委託料70万円。これ、具体的にはどのような委託料ですか。

村田商工労働課長 今のところ、民生委員さんに65歳以上の1人世帯、75歳以上の2人以上の世帯の方に訪問していただいて、使用方法とかをお話ししていただこうかなと考えております。

高松秀樹分科会長 そうしたらこの小野田商工会議所、山陽商工会議所には、いわゆるそういう委託金とかは出ないということなんですね。ボランティアでやっていただけると。ということらしいです。

山田伸幸副分科会長 これ商品券ではありますけれど、生活保護者の方々にもこれは行くのか。行った場合、収入認定等には引っ掛からないのか、その点いかがでしょうか。

村田商工労働課長 生活保護者も対象といたします。収入認定はしません。市が、独自の施策として実施します給付金とか商品券なんですが、これは特別定額給付金と同じ目的で、給付対象者であれば収入として認定しない取り扱いをすることができると国から通知がございました。

高松秀樹分科会長 チケットの偽造防止について説明があれば。

村田商工労働課長 偽造防止は必ず行うように考えておるんですが、どのように偽造防止を行うかというのは、今後、業者と協議していきたいと思っております。

高松秀樹分科会長 ちょっと気になるのが大体、「今後」とかですね、「つもりです」っていうのがずっと続くんですけど、10月1日から使用で大丈夫ですか。しっかりやってとは思いますが、ちょっとそんな感じがしたんで。

村田商工労働課長 偽造防止は前回のプレミアム付商品券ではホログラムを入れておりましたが、その仕様と同じにしたいと考えております。

高松秀樹分科会長 間に合わなかったということにならんように、市民に既に告知している状況でもあるので。

松尾数則委員 理科大生の全学年という表現なんですが、これは市内在住の学生、落第しちよつてももらえるということね。

村田商工労働課長 そのとおりです。

吉永美子委員 会計年度職員の募集の仕方なんですが、これはやはり今回のコロナの影響によって今、職がなくて収入がないっていうそういう場合に、応募の条件みたいなのはどのようにされるんですか。

辻村総務部次長兼人事課長 この件につきましては、目的ですので、特にそういう制限は設けずに、この事業を商工労働課の業務にということで募集をかけたいとは思っております。

吉永美子委員 ごめんなさい。あれ記憶が私。やっぱりコロナの関係でっていうお話がどこかで出たと思ってたので、やっぱりその関係で募集と思ってたから、その辺っていうのは全く関係ないっていうふうに、どっかで出てまいりませんでしたか。

辻村総務次長兼人事課長 前回の補正の中で、緊急雇用対策ということで募集しましたけれども、それは、この業務とは別で、それ以外の業務で通常の業務と、またコロナで、こういった特定の目的じゃないもので、コロナの関係で忙しくなったとか、そういったところに緊急的に雇用したいということで、これはまた別な予算での雇用となります。

高松秀樹分科会長 対象店舗のところで、①の米印のところで、建設業、運輸業は20人以下って対象要件がありますけど、これってどういう意味になるんですか。どういうことを想定されているんですか。

村田商工労働課長 この小規模事業者の定義が中小企業基本法に基づく中小企業者の定義になりまして、その中では建設業と運輸業は従業員が20人以下を小規模事業者と定義しております。

高松秀樹分科会長 つまり、建設業者にも使えるっていうことになるんですか。（「はい、使えます」と呼ぶ者あり）そういうことになるんですね。どうですか。大丈夫ですか。一生懸命に執行もやられてると思うんで。

吉永美子委員 議会として、市長に対して要望したのはプレミアム付商品券っていうのを出してたと思うんですよ。ですよ。で、検討という言葉が

あったように思ってるんですが、これはそういったプレミアム付よりも市民全員に行くっていう形を今回は選択されたと思うんですが、今後の御予定ってというのはいかがなんでしょうか。

古川副市長 議会から頂いた提案も包含する中で、今回は今、経済部が説明した形のものを取らせていただいております。

高松秀樹分科会長 ちょっと使い方を教えてもらいたいですけど。これ郵送で送ってきますよね。1人5,000分で500円のチケットが10枚あると。2,500円ずつなんだけど、それを実際使うときには、例えば、2,000円使おうと思ったときは2,000円を切るんでしょうね。切ってお店に渡すんですよね。お店は、その券に何か印鑑か何かを押してんですか。

村田商工労働課長 取扱店は市民の方が利用して、商品券を受け取った場合は、裏に印鑑を押して銀行に持ち込むようになります。

高松秀樹分科会長 印鑑を銀行が確認するという手はずになるんですか。

村田商工労働課長 そのとおりです。

吉永美子委員 副市長から、今回は議会の要望も受けて5,000円のものにしましたということなんですが、県内では、逆にそのプレミアム商品券で今回、独自の経済対策というか、そういうことをしてるところはないんですか。全てこういうふうな5,000円とかを配るという形になっているんですか。

村田商工労働課長 本市のように商品券を配るのは長門市の5,000円だけで、ほかプレミアム付商品券というふうには聞いております。ただ、まだ検討中なので、どうなるかは分かりませんが。

水津治委員 これ、もちろん、お釣りが出る使い方はできないということでしょうでしょうか。

村田商工労働課長 前回、前々回のプレミアム付商品券でも商品券の使用制限がありまして、それが例えば商品券と現金の交換は禁止するとか、つり銭は渡さないとか、そういった注意事項がございますので、それに合わせて実施したいと思っております。

高松秀樹分科会長 大体、分かりましたか。まだちょっとね、今からのところもあるようなので、気付きがあれば、本当は違うんですけど、この際、言っとっていただければ。

水津治委員 紛失っていうのが必ず出ると思うんですね。頂いたけどどっかに直した、直し忘れとか、落としたとかいうのが必ず出てくると思うんですね。現金と同じなんで、再発行っちゃうのはできんと思うんですが、何て言うかな、悪意のない紛失っていいですかっていうのがあろうと思って、そういった例もあると思うんですね。そういったときの対応というのは何か考えておられますか。

村田商工労働課長 前回、前々回の商品券については申し訳ないんですけど、注意事項に購入した商品券の盗難紛失については、発行者は責任を負わないという一文を入れさせていただいております。

高松秀樹分科会長 ほかいいですか。ちょっと1点。理科大生に配るじゃないですか。これは市から同じように配るんですか。それとも理科大が配るようになるんですか。

村田商工労働課長 理科大にお願いしようと思っております。

高松秀樹分科会長 そのとき重複をチェックしないといけんと話になるんですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それなら、住民票がある方については、もちろん考慮済みだということですよ。

村田商工労働課長 そこは今から協議していく予定ですが、例えば、学生に住民票を提出していただくとか、そういったことで確認してもらおうと思っております。

高松秀樹分科会長 今から協議するということなんですが、恐らく時間が非常にタイトになってくるような気がして、恐らく皆さん残業を繰り返してここまで来られたと思うんですけど、これがちゃんとできるまでは、しっかりその制度設計を含めてやっていただきたいというふうに思っています。ほかの委員の皆さんからよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）はい、なければ、ここで質疑を終了します。以上で、一般会計予算決算常任委員会新型コロナウイルス感染症対策分科会を終わります。お疲れ様でした。

午後 4 時 5 8 分 散会

令和 2 年（2020 年）6 月 1 6 日

一般会計予算決算常任委員会

新型コロナウイルス感染症対策分科会長 高 松 秀 樹